



洞爺湖町子育て支援センター TEL 0142-76-2008

メールアドレス kosodate.center@town.toyako.hokkaido.jp

R6年7月1日

ようやく気温も上がり日差しが暑いなぁと感じるようになりました。子ども達の大好きな水遊びの季節がやって来ますね。お天気がいい日には、水遊びや裸足になり砂場で遊んだり、海に行って貝殻を拾ったり波と追いかけてごっこをしたりと季節の遊びが出来るといいですね。水分補給、着替え、帽子等の用意をお願いします。



7月9日（火）から子育てセミナー「はつらつパパ・ママの子育てセミナー」が始まります。6回の開催を予定しています。

詳しくはポスター、洞爺湖町ホームページ、広報とうやこに掲載していますのでご覧ください。子育てセミナーは予約制ですので直接、子育て支援センターに申込みをお願いします。

*10組になり次第、受付は終了になります。



「入江保育所開放」

この日は、保健師さんが来所してくれて計測をしました。みんな大きくなったかな？（ワクワク！）里帰りしているお友だちも遊びに来てくれましたよ。

「ぶんぶんぶんハチがとぶ」でハチさんにチクンされたお友だち、ごめんね。



「本町保育所開放」

手遊びが上手になってきたお友だち、お友だちの手遊びをジーと見てニコッと笑う微笑ましい瞬間がありました！！



「親子ふれあい遊び」

バター作り体験



シャカシャカと瓶を真剣に振るママ達
子ども達は何が始まったの？とおめめ真ん丸！
出来上がったバターは、おイモやパンにつけて
美味しく頂きました。



「洞爺保育所開放」

腹ばいも滑り台も上手になったね。「らいおんさんの虫歯」で「ガオオ」っておどろかしちゃったけど保育所のお友だちの方がおどろいてビックリ！

「7月の予定カレンダー」

日	月	火	水	木	金	土
	1 開設	2 開設	3 開設	4 開設	5 本町保育所開放 (計測)	6
7	8 開設	9 子育てセミナー①	10 開設	11 開設	12 桜ヶ丘保育所開放	13
14	15 海の日	16 開設	17 開設	18 開設	19 洞爺保育所開放	20
21	22 開設	23 親子ふれあい遊び 「噴水公園で水遊び」	24 開設	25 開設	26 入江保育所開放	27
28	29 開設	30 開設	31 開設			

親子ふれあい遊び

噴水公園で水遊びや固定遊具でのびのびとあそびませんか？水遊びは、汚れても良い下着をきて遊びます。裸足でも良いのですが石畳に水道があるのでビーチサンダルか汚れても良い靴があると楽しく遊べます。



「噴水公園で水遊び」

日時 7月23日(火)(予約制)
10:00~11:30(現地集合・解散)
場所 噴水公園(洞爺湖温泉144-19)
*雨天時は支援センター内で遊びます。

持ち物 着替え(親子)、汚れたり濡れてもいい服装、タオル(バスタオル、フェイスタオル)、帽子(親子)、敷物、水分補給(水かお茶)、ビーチサンダル又は汚れても良い靴(親子)、ベビーカー(必要な方)

★電話での受付も大丈夫です。

イヤイヤ期をどう受け止める？

「イヤイヤ期」が起こる理由

一般的に1歳半くらいから3歳頃の子どもにやってくる「イヤイヤ期」。あれもイヤ！これもイヤ！と事あるごとに怒ったり、泣いたりしますが、何も大人を困らせようとしているわけではありません。イヤイヤ期は、(第1次反抗期)ともいわれこの時期の「イヤイヤ！」は、子ども達の心が成長している証拠でもあります。子どもは、1歳半頃になると自分と他人の違いがわかるようになり、自己意識が芽生えてきます。すると「こうしたい」「自分でやりたい」と物事を自分から進んで行おうとする自発性が強くなります。一方で、言葉を理解したり言葉で表現したりする力、また、感情を抑えたりコントロールしたりする力は、十分に発達していません。そのため、自分がやろうとすることを周りに止められたり、思うようにできなかったりしたときに自分の気持ちをうまく言葉にしたり我慢したりできず「イヤ！」と感情を爆発させるのです。

「イヤ！」と言えることでさらなる成長につながる

イヤイヤ期の子ども達の「イヤ！」という言葉は、「自分でやりたい！」という気持ちの裏返しで、自己主張の第一歩です。そこで自分の主張が受け入れられたり、受け入れられなかったりする経験を通して、自分の気持ちを伝える力や感情をコントロールする力など、さまざまな能力を身につけていきます。子どもが「イヤ！」と言えることに価値があり、それが成長するきっかけになります。その際、当然ですが頭ごなしに否定したり、一方的に我慢させたりするのはNG。子どもの思いを察して、受け止めることが大切です。そのうえで、子どもの気持ちが落ち着くように、また納得できるようにサポートします。子どものイヤイヤに対応する大人は、そのたびに時間も労力もかかりますが、「イヤと言えるまで成長した」「やりたいという意欲が育っている証拠だ」などと、できるだけポジティブに捉えられるように心がけてみましょう。

